2026（令和 8）年度

日本大学一般選抜

Ｎ全学統一方式

第１期

【試験問題の出題意図】

※出題意図の内容に関する質問，照会には一切回答しません

外　国　語

「英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ」

Ⅰ　文法（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて標準的な英文法・語法の知識を問うとともに，文脈に即してそれらを正しく活用し，適切な英文を構成する能力を考査することを意図した。

Ⅱ　語彙（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて，日常的な場面で使われる重要語彙や慣用表現，および語法の正確な理解に基づき，文脈に即してそれらを適切に活用する能力を考査することを意図した。

Ⅲ　熟語（多肢選択問題）

短文形式の空所補充問題を通じて，文脈を正しく理解した上で，句動詞や慣用表現を適切に活用する能力を考査することを意図した。

Ⅳ　中文読解（多肢選択問題）

「イタリアのパスタ価格高騰」に関する英文の空所補充問題を通じて，論理的な流れを正確に把握する読解力と，文脈に合致する語彙や文法事項を正しく活用する能力を考査することを意図した。

Ⅴ　長文読解（多肢選択問題）

「音楽が痛みの緩和に与える影響」に関する科学的な論説文を通じて，実験の過程やその結果など，文章の要点を正しく読み取る読解力を考査することを意図した。

Ⅵ　会話文（多肢選択問題）

A：対話文（多肢選択問題）

チャット形式のやり取りにおけるそれぞれの話者の意図を読み取り，コミュニケーションの流れを正確に把握する読解力を考査することを意図した。

B：掲示・案内（多肢選択問題）

必要な情報を読み取り，語彙を文脈から推測する力や，示された条件に照らして各選択肢の正誤を判断する力を考査することを意図した。

Ⅶ　英作文（語句整序問題）

語句整序問題を通じて，重要構文や語法に関する知識の定着度を問うとともに，日本語の意図に沿った正しい語順で英文を完成させる能力を考査することを意図した。

Ⅷ　英作文（語句整序問題）

「スローフラワー運動」に関する英文の語句整序問題を通じて，文構造の理解だけではなく，前後の文脈にあわせて適切な英文を構成する力を考査することを意図した。

以　上

国　　語

「現代の国語，言語文化（漢文を除く）」

Ⅰ　現代文，随筆の読解力と理解力を確認するための問題である。高等学校課程の「言語文化」に相当させた。語彙や文学史の知識問題とともに，一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。

問一：言葉の意味を問う基礎的語彙問題。
問二：文脈に合う表現を空欄に補充する問題。文脈の理解度を評価する。
問三：論理を踏まえて傍線部の内容を考える問題。
問四：論理を踏まえて傍線部の内容を考える問題。
問五：論理を踏まえて傍線部の内容を考える問題。
問六：論理を踏まえて傍線部の内容を考える問題。
※問三~六までは，論理に沿って文脈を理解する能力を評価する
問七：本文全体から内容を把握する問題であり，段落ごとの要点を的確に把握し，文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。
問八：文学史の知識を問う問題。

Ⅱ　論説的文章の読解力および基礎的国語力を確認するための問題である。新課程「現代の国語」に相当する。漢字・語彙など知識問題とともに，一定の分量を持つ文章から内容を理解する能力を問う。全て選択問題である。

問一：基礎的漢字力および語彙力の問題。常用漢字範囲内での漢字問題で，それぞれ常用漢字内での基礎的漢字力と語彙力を評価する。
問二：論理を踏まえて空欄に副詞や接続詞を補充する問題で，正確な論理能力を評価する。
問三：文中の言葉の意味を問う知識問題。語彙の正確な知識も評価する。
問四：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を説明する問題。
問五：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を説明する問題。
問六：論理と文脈を踏まえて傍線部の内容を説明する問題。

問七：論理と文脈を踏まえて傍線部の理由を説明する問題。

※問五~七までは，論理展開に基づいた正確な読解力を評価するとともに，思考力を評価する。

問八：本文全体から内容を把握する問題であり，段落ごとの要点を的確に把握し，文章全体の内容を正確に理解する能力を評価する。

Ⅲ　古典散文の読解力を問う問題である。古典文法・文学史に関する基礎問題も含む。高等学校課程の「言語文化」に相当する。全て選択問題である。

問一：傍線部の解釈をする問題。古文語彙の基礎的知識が必要である。

問二：掛詞の用法を問う問題。古典和歌の技巧に関する知識が必要である。

問三：傍線部の内容を把握する問題。

問四：基礎的古語の意味を問う問題。

※基礎的な古典語の語彙や和歌に関する基礎知識が必要であるが，その上で問三・四は文脈に即した解釈が必要となる。

問五：基礎的古語の活用を問う問題。基礎的な文法知識を必要とする。

問六：動詞の活用を問う問題。基礎的な文法知識を必要とする。

問七：傍線部の解釈の問題。

問八：基礎的古語の意味を問う問題。

問九：傍線部解釈の問題

※問七・八・九は，文中での解釈が特に重要であり，登場人物の関係を意識的に読み取ることが必要である。

問十：文学史の基礎知識を評価する問題。

以　上

数　学　①

「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ（図形の性質，場合の数と確率），
数学Ｂ（数列），数学Ｃ（ベクトル）」

Ⅰ　数学Ⅰ（数と式，２次関数，三角比，データの分析），数学Ａ（場合の数と確率）の範囲の知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・循環小数の取り扱い
・２次方程式の解の配置
・三角関数の図形的性質および三角比の定義
・順列で大小関係があるときの取り扱い
・データの代表値，四分位数

Ⅱ　数学Ⅱ（図形と方程式，三角関数，三次方程式）と数学Ｂ（数列）の範囲の知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・分数式の計算
・３直線が三角形を作らない条件
・三角関数の２倍角，合成を用いて不等式
・３次方程式の解と係数の関係
・格子点の個数，等差数列の和

Ⅲ　平面座標とベクトルについての知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・分点公式や共線条件の理解
・大きさの条件から，平面ベクトルを決定すること

Ⅳ　絶対値を含む積分について知識と計算力をみる。具体的には，次の通りである。

・絶対値を含む定積分の計算
・関数の増減の理解

以　上

数　学　②

「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Ａ（図形の性質，場合の数と確率），
数学Ｂ（数列），数学Ｃ（ベクトル，平面上の曲線と複素数平面）」

Ⅰ　様々な分野の基礎的な知識を問う。(1)方程式の解の理解および２次方程式の解法を問う。(2)命題の真と集合の包含関係を問う。(3)３乗の展開公式と虚数単位および関連用語の知識を問う。(4)分散の意味と導出方法の理解を問う。(5)等差数列および和と一般項の関係の理解を問う。

Ⅱ　数学Ⅱの三角関数の知識を問う。(1)三角関数の相関関係および半角の公式の理解を問う。(2)加法定理の理解と応用力を問う。

Ⅲ　数学Ⅱの指数関数・対数関数の知識を問う。(1)指数法則および対称式の理解を問う。(2)指数方程式および対数の定義の理解を問う。

Ⅳ　数学Ａの場合の数の知識を問う。(1)(2)等式・不等式で与えられた条件を組合せの考え方に読み替える力を問う。(3)同じタイプの応用力を問う。

Ⅴ　数学Ｃのベクトルの知識を問う。(1)与えられた条件から内積を求める。(2)面積公式の運用を問う。(3)交点の位置ベクトルの求め方および線分長の比と面積比の関係の理解を問う。

Ⅵ　数学Ⅲの微分法・積分法の知識を問う。(1)分数関数の微分が正確にできるかを問う。(2)回転体の体積の求め方,置換積分を利用して積分を理解しているかを問う。

以　上

日　本　史

「歴史総合，日本史探究」

Ⅰ　古代の文章問題で，三つの文章を提示している。一つ目の文章は地図も引用しながら，近代以降の日本における考古学の進展を理解しているかを問うている。二つ目の文章は古代における貨幣の鋳造について，その背景や考古学上の発見を理解しているかを問うている。 三つ目の文章は古代の律令国家が東北地方でいかなる政策を展開したかの理解度を問うている。

Ⅱ　中世の文章問題で，二つの文章を提示している。一つ目の文章は画像も引用しながら，院政期から鎌倉期にかけて描かれた絵巻物の特徴や題材に関する理解度を問うている。二つ目の文章は室町幕府による明・朝鮮との外交政策の展開や，同時期の北海道（蝦夷地）・沖縄（琉球）の社会状況を理解しているかを問うている。

Ⅲ　近世の文章問題で，二つの文章を提示している。一つ目の文章は近世における文化の展開について，京都と江戸の関係，時期による相違を理解しているかを問うている。二つ目の文章は近世の兵農分離がいかなる仕組であり，これが近世の前半と後半で，どのような批判や改革案が存在したのかの理解度を問うている。

Ⅳ　近現代の史料問題で，五つの史料を提示している。一つ目の史料は大政奉還と王政復古の相関性。二つ目の史料は明治期の国会開設の経緯。三つ目の史料は近代における女性の立場や主張。四つ目の史料は敗戦後の諸改革の内容。五つ目の史料は戦後の日韓関係の基礎構造。それぞれについて，理解が適確なものであるかをはかっている。

以　上

世　界　史

「歴史総合，世界史探究」

Ⅰ　インド古代文明に関する正誤問題である。その歴史的展開と周辺地域への影響について，宗教的・文化的側面も含めて基礎知識を身につけることができているかを確認する設問とした。

Ⅱ　アメリカ独立戦争の背景とアメリカ合衆国建国の歴史的展開について，イギリス本国との関係や当時の国際情勢の理解も含めた総合的な知識を身につけているかを確認する文章問題とした。また，アメリカ合衆国の建国がラテンアメリカ地域に与えた影響についても理解力を問うことを意図した。

Ⅲ　19 世紀の中国史に関する地図問題である。19 世紀の東アジアにおける中国の対外関係について，当時の日本との関係も含め，その歴史的展開を地理的な状況と合わせて理解できているかを確認することを意図した。

Ⅳ　世界恐慌の歴史について問う年表問題である。世界恐慌の影響と各国の対応に関する歴史的展開を時系列に沿って理解できているかを確認するとともに，第二次世界大戦前の国際的な政治経済情勢について基礎知識を身につけることができているかを問う設問とした。

以　上

地　　理

「地理総合，地理探究」

Ⅰ　地形図や主題図に関する基本的事項の知識を問う大問として作成されている。地図の縮尺，地図記号，等高線などから読み取ることの出来る地形条件の理解を問う問題設定がされている。また，GIS やこれを用いて作成されたハザードマップの基礎的概念や作成過程に関わる知識を問う設問が設定されていることも特徴として挙げられる。

Ⅱ　日本各地における自然地理学現象の理解を問う大問として作成されている。各設問は，地形・気候の分野よりバランス良く出題がされている。また，単調な記憶力を問う設問ではなく，これら現象間の有機的な繋がりの理解を確認出来るよう出題型式に工夫が見られる点が特徴として挙げられる。

Ⅲ　世界の自然環境および自然災害に関する基礎的知識を問う大問として作成されている。各設問は，地形・気候・植生および自然災害までと，教科書中の広い範囲からバランスよく出題されている。大問Ⅱと同様に，地域ごとの自然環境の特徴とこれらを繋げる知識への理解を問う設問により構成されている。

Ⅳ　世界の地域問題に関する基礎的知識を問う大問として作成されている。教科書中にも記載のある SDGs に関連した各テーマに関わる設問により構成されている点が特徴的である。本大問の解答に際しては，世界各地の人文・自然的事象を知識として持つだけではなく，これらの発生要因に関わる学際的な視座が求められる。

Ⅴ　オセアニアの地誌に関する基礎的知識を問う大問として作成されている。主にオーストラリア・ニュージーランドにおける地形・気候などの自然的事象と産業・資源・貿易・観光・歴史など人文的事象を単純知識として問うのみではなく，これら同士の有機的な繋がりを持つ現象として問うことで，地誌的な視座を問う設問としている点が特徴的である。

以　　上

政　治・経　済

「公共，政治・経済」

Ⅰ　日本国憲法を中心に，法に関する基本的な知識を問う。

Ⅱ　民主主義を支える諸制度についての理解を問う。

Ⅲ　日本の財政に関する様々な知識を問う。

Ⅳ　国際社会の政治・経済の諸問題を問う。

以　　上

物　　理

「物理基礎，物理」

Ⅰ　力学から，斜面上でのばねから力を受けた小球の運動とばねの振動運動に関する出題である。

斜面上での力学的エネルギー保存則に関する基本的な理解と，ばねの振動周期についての理解を問う。

Ⅱ　熱力学から，シリンダー内に閉じ込められた気体の状態変化に関する出題である。

等温過程，断熱過程，およびその圧力変化や仕事に関する基本的な理解を問う。

Ⅲ　波動から，正弦波のグラフと固定端反射に関する出題である。

正弦波の性質，固定端反射，定在波に関する基本的な理解と，ドップラー効果の理解を問う。

Ⅳ　電磁気学から，ダイオードを用いた回路に関する出題である。

ダイオードの性質，ダイオードに電流が流れる場合の電流と電圧の関係についての理解を問う。

Ⅴ　原子から，水素原子の構造に関する出題である。

水素原子に対するボーア模型，および水素原子から放出される電磁波に関する基本的な理解を問う。

以　　上

化　　学

「化学基礎，化学」

Ⅰ　気体に関する出題である。
理想気体と実在気体について，基礎知識と計算能力を問う。

Ⅱ　物質の量的扱いに関する出題である。
原子量，物質量，濃度，密度について理解を問う。

Ⅲ　酸塩基反応に関する出題である。
中和滴定を題材とし，実験の基礎知識や濃度計算の能力を問う。

Ⅳ　無機化合物の性質に関する出題である。
金属イオンの系統分析を題材とし，金属の性質と溶解度積について理解を問う。

Ⅴ　化学平衡に関する出題である。
緩衝液についての基礎知識に加え，グラフを読む力と計算の能力を問う。

Ⅵ　有機化合物に関する出題である。
構造異性体やカルボニル化合物の性質について理解を問う。

Ⅶ　高分子化合物に関する出題である。
多糖類の構成単糖についての知識と酵素反応について理解を問う。

以　　上

生　　物

「生物基礎，生物」

Ⅰ　同化に関する知識と理解を問う問題である。小問１では同化に関する基礎的な知識をみる。小問２と３はそれぞれ波長と光合成速度の関係と光合成に関する考察能力をみる。小問４はグラフを正しく読み取る能力をみる。

Ⅱ　細胞膜に関する知識と理解を問う問題である。小問１は細胞小器官に関する知識をみる。小問２では細胞膜を介した輸送に関する知識をみる。小問３はタンパク質の構造に関する理解をみる。小問４は細胞膜の構造とタンパク質の構造との関係についての理解をみる。

Ⅲ　バイオテクノロジーに関する全体的な知識と理解を問う問題である。小問１ではさまざまなバイオテクノロジーに関する基礎的な知識をみる。小問２では原核生物と真核生物の遺伝子発現の理解をみる。小問３では制限酵素のはたらきの理解をみる。小問４では遺伝子組み換えを題材に，情報の整合性を確認する能力をみる。

Ⅳ　動物の発生に関する理解を問う。小問１ではカエルの表層回転についての理解をみる。小問２では両生類の器官形成についての理解をみる。小問３ではニワトリの指形成を題材に，文章の整合性を確認する能力とグラフを正しく読み取る能力をみる。

Ⅴ　免疫系に関する知識と理解を問う。小問１ではウイルスに関する基礎的な知識をみる。小問２では免疫に関する基礎的な知識をみる。小問３では発熱のメカニズムに関する基礎的な知識をみる。小問４ではワクチンによる予防に関する理解をみる。

Ⅵ　植物の環境応答に関する知識と理解を問う。小問１では屈性と傾性に関する知識をみる。小問２では植物ホルモンに関する知識をみる。小問３では植物の環境応答と植物ホルモンとの関連を連想する力をみる。

Ⅶ　生態系とその保全に関する知識と理解を問う。小問１では生態系の保全に関する知識を問う。小問２では河川における自然浄化作用に関する理解をみる。小問３ではエネルギーピラミッドに関する理解をみる。

以　　上